



キャリアブレイク研究所
代表理事
北野貴大さん

きたの・たかひろ ● 大学卒業後JR西日本SC開発株式会社に入社し、商業施設の企画開発に従事。2022年に独立。無職のための宿『おかゆホテル』や『むしょく大学』など、キャリアブレイクの文化啓蒙活動を行う。2022年10月、一般社団法人キャリアブレイク研究所を設立。大阪公立大学院経営学研究所 特別研究員。

キ

キャリアの中断はよく「ブランク」と表現されます。日本では、

ブランク＝空白期間があると転職活動で不利になるといった考え方もあって、所属している会社が自分には合わないと思っても、なかなか辞められない人が多いかもしれません。なんとか工夫しながら今いる会社に居続けるのが第一の選択肢、転職先など次の居場所を見つけて環境を変えるのが第二の選択肢だとしたら、第三の選択肢として「今いる場所から一時的に離れてみる」という方法をとつてもいいのではないのでしょうか。それが僕のつくりたい「キャリアブレイク」の文化です。

大学卒業後、JR西日本グループの会社に入社した僕は、商業施設・ルクア大阪の企画プロデュースの仕事をしていました。あるとき商社で働いていた妻が仕事に悩んで「無職になってみる」と言い出しました。無職というと僕は正直、少しネガティブなイメージがあったのですが、イギリスに住んでいたこともある妻には無職期間を挟んでキャリアを転換してきた友人たちがい



たので、抵抗がなかったようです。そうしてあえて無職期間を設けた妻が、自分の感性を取り戻し、選択肢を広げ、やりたいうことを見出し、次の仕事に就くまでのプロセスを間近で見て、まるで旅行に出かけて人生を振り返りながら回復していくようにだと面白く感じました。欧州ではこのような離職の選択をキャリアブレイクと呼び、カルチャーとして根付いている国もあるそうです。こうしてキャリアブレイクについて関心が深まり、さまざまな文献を調べたり発信したりするようになりました。2022年に独立し、その後、一般社団法人キャリアブレイク研究所を立ち上げました。

研究を始め、離職・無職経験者の話を聞くうちに「ちょっと一回手放して、今いる場所から離れてみる」ことの効用に気づきま

「ちょっと一回手放して、離れてみる」 キャリアブレイクがもたらす新たな人生

した。僕たちは普段、どこかのコミュニティに所属して生きています。知らず知らずのうちに所属している会社や役割を背負い「〇〇社の社員としては〜だと思ふ」「教員としては〜という判断をする」というように、自分以外を主語にさまざまなことを考えるようになっていきます。しかし所属している場所から一度離れて「孤立することによって、自分を主語にして考える時間が取り戻されるのです。すると「本当はこうしたかった」「実はこれに興味があった」など自分の本心や使命に気づくことも。これを僕は「創造的孤立」と呼んでいます。歴史的に見ても、時代を変えた偉人や、その当時の常識を覆して新しい文化をもたらした人たちの多くが、その時代の王道や大きな組織から一度離れて孤立しているのです。

孤立によって「私」が復興し、それまで見えなかった選択肢が目に入るようになる。選択するのにもコミュニティを頼りにできないので、自分で納得して、自分で決めなければいけない。「自分で納得して決めた」プロセスが自信になり、新しい運を手繰り寄せる。こんなサイクルが回り始めます。キャリアブレイクを経て再び就職できるの？とよく聞かれますが、実際のところ僕らの知る限り就職率は高く、企業に勤めてからもアントレプレナーシップを発揮できる人が多いようです。

もし字や絵が書いてある部分为主で、余った白い部分を余白というなら、僕はキャリアや人生に余白という表現を用いるのは、とってつけたような不自然さを少し感じます。「ゆとりを無理やりつくる」という意味での余

白ではなく、今まで積み上げてきた不要な価値観や怖れを一旦みずからブレイクし壊し、手放すこと。それが人生の回復と次の一歩につながっていくのではないのでしょうか。そう考えると旅行に行つて自分を振り返ったり、別の業界の人と話したりすることもキャリアブレイクの一つと言えるでしょう。

とはいえ教え子が「ちょっと無職になつてきます」と言ったら、先生方のお立場では心配されるのが普通ですよ。僕は今34歳ですが、僕より下の世代はキャリアに対して柔軟に考え、状況に応じて変化できる弾力性をもっていることが多いように思います。それは近年の新しい教育が、学校の外で花開いている証だと思ふのです。心配は尽きないかもしれませんが、きっと今、先生方が一生懸命育ててくださったっている生徒さんが社会に出るころには、もっと弾力的なキャリアを歩めるようになってはいるはず。ですから人生におけるブレイクの可能性にも希望をもちつつ、一緒に悩みながら、次の世代の新しい生き方や働き方を模索していけたら嬉しいですね。